

I. 広東省

1. 反腐敗にかかる処分

●11日、省人民検察院は法に基づき、黄仕芳・元惠州市人代党組織書記（正庁級）を収賄罪で立件・取調べを行うとともに強制措置を取ったと発表。同氏は本年2月に嚴重な紀律違反の疑いで調査を受けていた（4月12日付『南方日報』）。

2. 人事異動

●15日午前、河源市指導幹部大会が開催され、丁紅都・南沙区党書記が河源市党書記に就任（4月15日付『河源日報』、4月10日・16日付『南方日報』）。

●3月末、藍仏安・副省長が海南省紀律検査委員会書記に転出（3月30日付『海南日報』）。

3. 胡春華・省党書記がマルキオンネ・フィアット・クライスラーCEO一行と会談

●10日午後、上記会談で胡春華・省党書記は、引き続きフィアット・クライスラー社が広東省での投資・協力を深め、エコカーの研究開発に力を入れ、車種のラインナップを更に充実させ、自動車産業の発展の趨勢によりいっそう適応してってもらいたいと伝えた。任学鋒・広州市党書記、袁宝成・副省長も同席（4月11日付『南方日報』）。

4. 習近平・総書記が広東省に対して重要指示

●4日、習近平・総書記が広東省に対して重要指示を出し、第18回党大会以来の同省の各種取組みを十分に肯定するとともに、同省が党の指導・中国の特色ある社会主義・新たな発展理念・改革開放を堅持し（「4つの堅持」）、全国で供給構造改革を推進し、イノベーションによる発展戦略を実施し、開放型経済という新たな体制の構築を支え（「3つの支え」）、全面的に小康社会を築き、社会主義を現代化するという新たな道のり先頭を歩む（「2つの率先」）べく努力してもらいたいと述べた（4月12日付『南方日報』）。

5. 広東省で習近平・総書記の重要指示の精神を学習・貫徹

●12日、胡春華・省党書記が仏山市で習近平・総書記の重要指示の精神を指導・学習・貫徹し、「4つの堅持」、「3つの支え」、「2つの率先」によって、広東省における業務全体を統率していかなければならないと強調（4月13日付『南方日報』）。

●12日、馬興瑞・省長が東莞市で習近平・総書記の重要指示の精神を指導・学習・貫徹し、「4つの意識」、特に核心意識と看齐意識を更に強化し、果敢に任務を引き受け、勇気を奮い起こして先を争い、各業務を更に新たな水準に引き上げていくよう要求（4月13日付『南方日報』）。

●11日、李玉妹・省人代主任主宰の省人代常務委員会党組織拡大会議、王栄・省政協主席主宰の党組織会議、12日、黄先耀・省紀律検査委員会書記主宰の省紀律検査委員会常務委員拡大会議で、習近平・総書記の重要指示の精神を学習・貫徹（4月14日付『南方日報』）。

●13日、李玉妹・省人代主任が清遠市で習近平・総書記の重要指示の精神を指導・学習・宣伝・貫徹（4月14日付『南方日報』）。

●14日、胡春華・省党書記主宰の省党常務委員会会議が開催され、「習近平・総書記の重要指示の精神を学習・宣伝・貫徹するためのマスタープラン」について審議し採択。胡書記は次のように強調した。習近平・総書記の重要指示の精神を学習・宣伝・貫徹することを主な政治任務としてしっかりと取り組むよう強調（4月15日付『南方日報』）。

●14日、王栄・省政協主席が陽江市で習近平・総書記の重要指示の精神を指導・学習・宣伝・貫徹し、理解を深め、（形式よりも）実質を把握し、各業務を更に新たな水準に引き上げていくよう強調（4月15日付『南方日報』）。

6. 許瑞生・副省長がロシア・エクスポートセンター総裁一行と会談

●11日、上記会談で許瑞生・副省長は次のように述べた。広東（石龍）国際物流拠点関連プロジェクトの推進・ニーズのマッチングを強化し、両地域における貿易の水準を絶えず向上させていかなければならない。インフラ相互連結の分野では、現在すでに運航しているロシア・カルーガ州ヴォルシノと東莞市石龍鎮間の定期貨物列車を拠り所とし、より多くの鉄道新ラインを開発していく。引き続き双方の交流・協力を深め、更に多くのプロジェクトが早期に実行・発展させられるよう積極的に推進していく（4月12日付『南方日報』）。

7. 省政協が特別テーマ座談会を開催

●11日午前、省政協が「一帯一路建設においてパブリック・ディプロマシー（公共外交）の役割を發揮させる」という特別テーマ座談会を開催。王珣章・省政協副主席は同座談会で次のように述べた。本年、省政協は上記特別テーマに関する調査・検討を展開していくので、各部門も一帯一路建設におけるパブリック・ディプロマシーの役割を非常に重視し、特に人々の心の通い合いに果たす役割に注目してもらって、シルクロードに関する文化を広め、シルクロードに関する物語を語り、シルクロードの精神を説いていってもらいたい（4月12日付『南方日報』）。

8. 中央第4環境保護監督・査察グループによる状況報告

●13日、上記グループが省党委員会・省政府に対し、昨年11月28日～12月28日にかけて実施した監督・査察のフィードバック報告を行なった。馬興瑞・省長がフィードバック会議を主宰。陸浩リーダーが監督・査察に基づく意見を報告し、胡春華・省党書記はそれを支持する発言を行なった。翟青・副リーダー、省党委員会・省政府指導グループのメンバー、関連部門の責任者等が出席。同グループは、環境保護に対する広東省の取組みの成果は顕著だが、特に河川の汚水処理等に対する取組みが足りないと指摘（4月14日付『南方日報』）。

9. 胡春華・省党書記がスノプコフ・ベラルーシ大統領府副長官と会談

●13日午後、胡春華・省党書記がスノプコフ・ベラルーシ大統領府副長官と会談し、次のように述べた。中国・ベラルーシの友好関係という大きな枠組みの下、広東省はベラルーシとの地方交流・協力を積極的に推進しており、多くの分野で著しい成果を得ている。本年は中国・ベラルーシ国交樹立25周年であり、同省は両国の元首が合意したコンセンサスを更に実行し、「一帯一路」建設に積極的に参加する中で、友好省・州のプラットフォームの役割を十分に發揮させ、より多くの企業がベラルーシ工業パークに投資し、工場を建設するよう激励・サポートし、経済・貿易、科学技術、農業等の分野における協力の水準を絶えず向上させ、両国の友好関係を發展させるべく積極的に貢献していく。陳雲賢・省政府党組織メンバー等も同席（4月14日付『南方日報』）。

10. 中国とオーストラリアの海軍が合同演習

●13日午前、オーストラリア海軍の護衛艦であるバララット号が湛江市の軍港に到着し、中国海軍南海艦隊との5日間の友好訪問が開始され、訪問終了時、中国とオーストラリアの海軍は海上合同演習を行う予定（4月14日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 「一帯一路」企業海外投資リスク講演会の開催

●12日、広州市と香港の関連部門が上記講演会を共同で開催した。この講演会はすでに「海外進出（走出去）」をしている企業と今後「海外進出」する意向のある企業の総経理、副総経理、財政部門責任者向けに開催され、200人以上の企業代表が出席。広州市と香港からビジネス、税務、金融、保険、証券、法律等の関連分野の政府代表、経験豊かな専門家、学者、実業家が「海外進出」企業や個人が海外でぶつかる税金、信用、為替、投融资等の分野におけるリスクと対応措置について講義するとともに、「海外進出」した広州市の企業代表と意見交換を行なった。広州市商務委員会のデータによれば、2016年の同市の対外投資規模は拡大し続けており、新規の対外投資企業数は263社（2015年比4.37%増、2010年の1.6倍）、中方の投資額は契約ベースで52.8億米ドル（同10.7%増、同12.2倍）、実行ベースでは22.3億米ドル（同58%増）だった。昨年末の時点で、同市の企業は南アジア、中央アジア、中東、オセアニア等世界80か国（と地域）で投資を行い、1208社の非金融企業（と機関）を設立し、中方の投資額は約172億米ドル（契約ベース）に達している（4月13日付『広州日報』）。

2. 広州市で習近平・総書記の重要指示の精神を学習・貫徹

●12日、任学鋒・市党書記が習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神、河長制の全面的な推進に関する中央の政策決定・手配、水環境整備に関する省党委員会・省政府の要求を貫徹・実行し、広州市の水環境整備に関する業務について検討・手配（4月13日付『広州日報』）。

●先頃、任学鋒・市党書記主宰の市党常務委員会議が開催され、習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を伝達・学習し、それを貫徹・実行するための業務について検討・手配（4月14日付『広州日報』）。

●4日に出された習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を深く学習・宣伝・貫徹すべく、13日、市党委員会は「習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を真剣に学習・宣伝・貫徹することに関する市党委員会の通知」を發出し、全市各級・各部門は省党委員会の統一手配に基づき、思想と行動を習近平・総書記の重要指示の精

神に迅速に一致させ、それを真剣に学習・宣伝・貫徹するよう要求した（4月14日付『広州日報』）。

●13日午前、黎明・副市長主宰の宗教工作会議が開催され、任学鋒・市党書記が出席するとともに講話を行い、習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を原動力とし、市の宗教工作の水準を着実に向上させるよう強調。盧一先・市統一戦線部長が業務を手配。陳建華・市人代主任、楊正根・省民族・宗教事務委員会党組織副書記、謝曉丹・市政法書記、楊江華・副市長、張嘉極・市政協副主席も出席（4月14日付『広州日報』）。

●14日、温国輝・市長主宰の市政府党組織会議、陳建華・市人代主任主宰の市人代常務委員会党組織拡大会議、劉悦倫・市政協主席の委託を受けた李瑾・副主席主宰の党組織会議で、習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を深く伝達・学習・貫徹（4月15日付『広州日報』）。

●15日午後、劉悦倫・市政協主席の党組織拡大会議で、習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を宣伝・貫徹するとともに講話を行なった（4月16日付『広州日報』）。

3. 温国輝・市長が梅州市を視察

●11日、温国輝・市長がチームを率いて梅州市を訪れ、ペアリング支援と精緻な貧困救済・貧困脱却の進捗状況を視察するとともに、広州市・梅州市連絡会議に出席し、梅州市と一緒に次の業務について検討。譚君鈇・梅州市党書記、方利旭・梅州市長も視察に同行、会議に同席（4月13日付『広州日報』）。

4. 温国輝・市長が自動車・電子業界の企業家・専門家と懇談

●12日午前、温国輝・市長が一部の自動車・電子業界の企業家・専門家と懇談し、いかにして広州市のネット接続型自動車産業を発展させていくかについて一緒に検討した。懇談会では徐啓明・広州市進強電子有限公司執行董事兼総経理、張継軍・Z T E副総裁、万拳勇・工業・情報化部第5研究所ゼネラルエンジニア、胡慶慶・アリババ・高德地図華南エリア自動車事業部総裁、曾慶洪・广汽集団董事長等9人が発言（4月13日付『広州日報』）。

5. 温国輝・市長が在中国ボリビア大使一行と会談

●14日午前、上記会談で温国輝・市長は広州市の経済・社会発展状況を簡潔に紹介し、ボリビアの都市と同市が更に多くの往来・協力ができるように推進し、ウィンウィンを実現したいと伝えた（4月15日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 第1回「法治社会」検討会の開催

●7日午前、「法治社会に関する研究を強化し、第19回党大会を迎えよう」と題した上記検討会が開催され、王樂泉・中国法学会会長、李春生・副省長兼庁公安庁長、梁偉発・省法学会会長が出席するとともに講話を行なった。陳冀平・中国法学会党組織書記兼常務副会長が来賓としてコメント（4月10日付『深圳特区報』）。

2. 第5回中国電子情報博覧会の開催

●9日、上記博覧会が開幕し、世界各地から1700社以上のリーディング・カンパニーが出展し、4000点余りの新製品・新技術を重点的に発表した。劉利華・工業・情報化部副部長、袁宝成・副省長、陳彪・副市長が開幕式に出席。今回の最大のハイライトはAI専門エリアであり、ソフトウェア、スマート・ハードウェア、ロボット、小型無人飛行機、銀聯カードによる支払い機能付のAI関連製品・技術が展示され、多くの観衆を引き付けた（4月10日付『深圳特区報』）。

3. 2017深圳国際グラフェン・サミットの開催

●10日、清華大学深圳大学院で上記サミットが開催され、アンドレ・ガイム・マンチェスター大学教授をはじめ、国内外の専門家、院士が一堂に会し、学術と産業化の視点からグラフェン等の2次元素材に関する科学的研究を進め、産業の発展につなげていくことについて検討した。張虎・常務副市長が開幕式に出席するとともに挨拶を行なった。深圳市はグラフェンを代表とする新素材の基礎研究と産業化を非常に重視しており、昨年の新素材産業の付加価値額は19.6%増、産業規模は1,650億元だった。2020年には2,300億元に達する見込み（4月11日付『深圳特区報』）。

●11日午前、王偉中・市党書記が上記サミットに出席したガイム教授一行と会談し、深圳市が実施している科学技術イノベーション「10大アクションプラン」とグラフェン産業の発展状況について紹介。ガイム教授はグラフェンの実用化は前途が非常に開けており、同市との協力を強化し、グラフェン研究とその産業実用化において新たなブレイクスルーを実現できるよう共に推進していくことを楽しみにしていると述べた（4月12日付『深圳特区報』）。

※アンドレ・ガイム教授：ロシア出身の物理学者（オランダ国籍）。グラフェンの共同研究で2010年ノーベル物理学賞受賞。

4. 宝安区に深圳市テラヘルツ波関連製造業イノベーションセンターが設立

●12日、宝安区で上記センター設立の除幕式が開催され、陳彪・副市長が出席。同センターは国内初のテラヘルツ波関連技術と電子情報産業を融合させたイノベーションセンターであり、深圳市が初めてスタートさせる製造業のイノベーションセンターでもある。深圳職業技術学院、華訊方舟科学技術有限公司、深圳市テラヘルツ波研究院三者による署名式典ならびに客員教授招聘式典が同時に開催された。テラヘルツ波を用いた技術は軍事、電子情報、バイオ・モニタリング、通信レーダーに広く応用されており、米国では「将来、世界を変える10大技術の1つ」と評され、日本では「国の支柱となる10大重点戦略目標」の先頭に挙げられている（4月13日付『深圳特区報』）。

5. 深圳市で習近平・総書記の重要指示の精神を学習・貫徹

●12日午後、王偉中・市党書記主宰の市党常務委員会議で、習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神、省党常務委員会議の精神を伝達・学習し、深圳市がそれを貫徹・実行するための意見を検討（4月14日付『深圳特区報』）。

●13日午前、王偉中・市党書記が前海深圳・香港現代サービス業協力エリアを視察し、開発・建設の進捗状況について理解を深めた。これは王書記が着任してから、視察を行なった「第一歩（第一站）」となった。王書記は習近平・総書記の重要指示の精神を学習・貫徹するとともに、使命を銘記し、果敢に試み、「4つの堅持、3つの支え、2つの率先」において先兵中の先兵になるよう強調（4月14日付『深圳特区報』）。

●14日、丘海・市人代主任主宰の市人代常務委員会党組織中心グループによる理論学習拡大会議、張虎・常務副市長主宰の党組織拡大会議・常務会議、市政協党組織拡大会議で、習近平・総書記の広東省に対する重要指示の精神を伝達・学習・貫徹（4月15日付『深圳特区報』）。

6. 第15回中国国際人材交流大会が開幕

●15日午前、上記大会が深圳市で開幕し、馬凱・副総理が開幕式に出席するとともに講話を行なった。胡春華・省党書記、齊統春・全国政協副主席、尹蔚民・中央組織部副部長、馬興瑞・省長、張建国・人的資源・社会保障部副部長、王文斌・国有資産監督管理委員会副主任、王偉中・市党書記が開幕式に出席。張虎・常務副市長が開幕式を主宰（4月16日付『深圳特区報』）。